

科目コード	R24302	科目名	基礎作業学				
履修区分	必修	開講期	1年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	ボンジェ ペイター						
授業の概要	「作業」が人の健康（とウェルビーイング）にどのように関わるのか、また疾患や障害を有したときに「作業」がどのように治療的な意味を持つのか、さらに治療媒体としての「作業」にはどのような力があるのかについて学習し、作業療法士としての治療的側面とその効果を学ぶ。また、課題を通して作業と健康の関連について各自の考えを共有することで、治療的思考の基盤を身につける。						
DPとの関連	慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている						
	理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている						
	生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている						
	理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている						
	地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている						
2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。 DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）= 卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	1) 意味のある作業を説明できる 2) 作業のバランスについて自分史から出来事を抽出し記述できる。 3) 作業と健康の関連を理解し、変化をもたらす作業の力を説明できる。 4) 作業遂行・参加・公正を理解し、説明できる。						
履修上の注意事項	授業の出席 = 積極的な参加。 1コマ授業に対する4時間自習がある。 講義で個別的な課題に対するグループワークを行う場合があります。積極的な発言を期待します。また、提出物については、事前に説明する「期限」や「体裁」を厳守してください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】			事前・事後学修		
	1	オリエンテーション 作業とは【ボンジェ】			予習：教科書第1-3章から作業に関する概要を確認しておく。 復習課題 作業の定義・説明		
	2	作業の意義・作業的公正【ボンジェ】			予習：教科書第4-5章から作業参加・結びつけ・作業的公正に関する概要を確認しておく。		
	3	作業のバランス【ボンジェ】			予習：国民生活時間調査の結果を調べておく。 復習課題 自分の作業のバランス。		
	4	作業と健康と意味のある作業【ボンジェ】			予習：教科書第4章から健康に影響を与えた作業を考えておく。 復習課題 自分の作業的ポートフォリオを作成する。		
	5	作業の力【ボンジェ】			予習：配布資料を読み、作業の力を考えておく。 復習課題 自分の健康を作業的な視点から自己評価をする。		
	6	作業を理解するための理論【ボンジェ】			予習：教科書第10章から自分のOT・社会人への移行を考えておく。 復習課題 自分のOT・社会人への健全な移行を計画する。		
	7	作業遂行【ボンジェ】			予習：教科書第10章を読んでおく。復習自分の作業遂行を自己評価する。 8回目の準備：復習課題 - に基づいて、自分の健全な大学生活プランに関するポスターを作成する（展示会のため）		
	8	まとめ（展示会）と試験【ボンジェ】			課題：復習課題 - に基づいて、自分の健全な大学生活プランに関するポスターを作成しておく。		
成績評価方法	試験という総括評価（40%）と課題遂行という形成的評価（60%）にて総合評価（100%）します。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	シンプル作業療法シリーズ 「基礎作業学テキスト」監修：東登志夫 編集：齋藤佑樹（南江堂）					978-4-524-21045-9	
参考書	作業って何だろう 作業科学入門 第2版・吉川ひろみ（医歯薬出版）					978-4-263-21667-5	
	作業療法をはじめよう・COPM・AMPs・ESIスターティングガイド（第2版）吉川ひろみ（医学書院）					978-4-260-05664-9	
	作業療法学ゴールド・マスター・テキスト 作業学 第3版・長崎重信 編集（メジカルビュー社）					978-4-7583-2042-9	
教員からのメッセージ	作業について様々な視点から理解を深めていただくためのコンテンツと課題を用意しました。これは、作業を治療手段として活用するための基礎となるだけでなく、将来のクライアントの目標とする作業を評価し分析するための基盤にもなります。ご自身にとって役立つと思われる他の視点も積極的に取り入れてください。						
教員との連絡方法	ポータルサイトからの連絡、及びオフィスアワー以外にも研究棟209研究室を訪れてください。						
実務経験のある教員							